

# 人権啓発センター だより

平成28年9月

No.33



## 雑 感

中国で昨年7月に、人権問題に取り組む弁護士や人権活動家らが一斉摘発で逮捕された事件。先日、中国の人権活動家に対して国家政権転覆罪で有罪判決が言い渡された。

検察側は「国家政権転覆の思想を強め、陳情者を組織して国家の安全と社会の安定を脅かした。」と指摘したと報道されている。

人権活動イコール犯罪。この方程式について考えてみる。

自称人権活動家であり、実態は違法の活動家で

あったということか。それとも、中国のお国事情によるものか。はたまた、日本のマスコミが勝手に人権活動家として報道したものか。う〜ん。方程式はなかなか解けそうにない。

翻って。日本国憲法は「国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。」云々と謳っている。何と、こっちには基本的が付いてくる。基本的とは？人権とは？

我輩は人権に携わる者である。答はまだない。  
(高知県人権課長 中野)

## 人権あれこれ



### 「オリンピック・パラリンピックと人権」

オリンピック憲章のなかの「オリンピズムの根本原則」では、この大会は人権に配慮したスポーツ大会であることが謳われている。

人権の観点からオリンピックを探ってみると、1896年第1回アテネ大会では、女性の参加はなかった。これは古代オリンピックでは女人禁制であったことや、当時は社会的に女性の権利が十分に保障されていなかったなどが原因であった。1900年第2回パリ大会では22人の女子選手がテニス、ゴルフ、クロケッターで参加した。

人種差別撤廃のきっかけとなった大会は、1904年第3回セントルイス大会である。当時オリンピックは白人のみの大会であったが、公式競技とは別に非白人の運動能力を研究する機会として実施された。日本からはアイヌの人たちが参加した。(日本の参加は1912年第5回ストックホルム大会からである)

障害者スポーツ最高峰のパラリンピックは、1960年第17回ローマ大会後に、同じ会場で開催された競技会が最初の大会である。「パラリンピック」という名称は1964年第2回東京オリンピック大会で初めて使用された。

### オリンピズムの根本原則(抜粋)

- ④ スポーツをすることは人権の1つである。すべての個人はいかなる種類の差別も受けることなく、オリンピズムに基づき、スポーツをする機会を与えなければならない。(略)
- ⑥ このオリンピック憲章の定める権利および自由は人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的またはその他の意見、国あるいは社会のルール、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別も受けることなく、確実に享受されなければならない。  
(オリンピック憲章 2015年版)

(研修講師 中西)

# じんけんライブラリー

## 一押し本

### 『わたしのココロはわたしのもの-不登校って言わないで-』

プルスアルハ／著 細尾ちあき／お話と絵 ゆまに書房 (1,800円＋税)

子どもの気持ちを知る絵本シリーズの第1巻。ごく普通の明るい子がある日突然学校へ行けなくなる。そんな子どもの気持ちを理解するきっかけになる絵本です。著者であるプルスアルハとは、精神科の看護師と医師を中心に心理教育ツールの作成と普及活動を行うプロジェクトチーム。読みやすく分かりやすい表現になっているので、どんな方にもぜひ読んでほしいシリーズです。

(企画啓発課 佐伯)



## 人権啓発DVDのご案内

### 「家庭の中の人権 カラフル」 (上映時間 31 分)

「人権問題」というと、難解で、政治や法律の一部の組織に関わる人だけに関係があるものと思われるがちです。しかし、「人権」の問題は、「人間」の問題。私たち1人ひとりが生きていく日々の中に存在します。気づかずにいると、知らず知らずのうちに他者の人権を侵害してしまうこともあります。そして人権に対する意識の基盤は、家庭の中で育まれていきます。

このビデオでは、両親と人生の巣立ちの時を迎えた子どもたちの会話を通じて、家庭の中にある人権問題を取り上げます。1人ひとりが「人権」に対する意識と知識を高め、家庭内で話し合うきっかけとしてお役にください。

#### 【収録テーマ】

- 他人の噂 — 誰もが知らず知らずの内に・・・
- 子どもの就職 — 名刺に格付け？
- 子どもの結婚 — 親の理想と価値観
- LGBT — “普通” という思いこみ
- 多様性を認めるカラフルな社会へ

※じんけんライブラリーには、現在 204 本の DVD を所蔵していますので、ご利用ください。







## 事業報告

### 高知ファイティングドッグスと連携・協力した冠協賛試合を開催しました

- ・日 時：2016年7月24日（日）  
18:00～
- ・場 所：高知球場（高知市大原町 158）
- ・来場者数：375人



今年は、ヘイトスピーチ解消のための法律が6月3日に施行されたこともあり、周知を図るためにも、西アフリカ選抜チーム対高知ファイティングドッグスの国際交流親善試合を冠協賛試合としました。

外国人の人権といっても人種差別や文化の違いによる誤解・偏見など、様々な人権問題があります。根拠のない情報に惑わされることなく、知らないうちに自分が差別をしていたというようなことがないよう、この試合がたくさんの人権問題に対しての理解・関心を深めてもらうきっかけになってくれたらと思い啓発に努めました。

アンケート調査でも、「今回のプロスポーツ組織と協力した人権啓発の内容は、良い催しだと思いますか？」の問いには、98%の方から良い催しだったとの回答があり、とても有意義な試合となりました。

#### 【意見・感想】

- ・「今日の試合はめったに見学できない出来事です。」      ・「今後もこのような催し物があれば来場したい。」
- ・「スポーツを通じた活動は言語を越えるので、積極的に行うべきだと感じた」
- ・「人権について思いをあらたにしました。」 など、たくさんの意見や感想をいただくことができました。



# Information お知らせ



## 事業・イベント紹介

### ミニ番組「心呼吸しよう」を制作・放送しています

今年度も、ミニ番組を制作・放送する事業を行っています。

この事業は、県民の皆様にも人権啓発活動をより身近なものとして感じてもらえるよう、県内の関係機関や団体・地域住民の皆様が人権啓発活動を行っている様子を紹介する番組です。

再放送を含め全12回放送されますので、ぜひご覧ください。

●番組名：「心呼吸しよう」

●放送テレビ局：RKC高知放送

●放送日時

平成28年8月～平成29年1月

月1回 第3土曜日

午後10:54～11:00

※再放送は、第4土曜日

午前5時25分～午前5時30分



## じんけんライブラリー 利用案内

図書、視聴覚教材の貸し出しを無料で  
行っていますのでぜひご利用ください

■ 図書

1人5冊以内で、期間は2週間以内です。

■ ビデオ・DVD

1人2巻以内で、期間は2週間以内です。

■ パネル

1人3セット以内で、期間は1カ月以内です。

※ 直接来所できない場合は送付いたします。  
(送料は利用者のご負担となります)



## ホール案内

各種研修会等にご利用ください

■ 収容人員

270名（机を使用する場合は180名）

■ 設備

放送設備、スクリーン、冷暖房

■ その他

使用料、利用時間等についてはHPでご確認ください。

問い合わせ先

〒780-0870 高知市本町4丁目1番37号

公益財団法人 高知県人権啓発センター

E-mail : center@kochi-jinken.or.jp

TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440

HP : <http://www.kochi-jinken.or.jp>